

## 長寿を祝い、健康に感謝し、幸せを願う ～平成26年度東通村敬老会～



越善村長による挨拶

9月11日(木)、村体育館において、平成26年度東通村敬老会が行われました。対象となる75歳以上の1304名のうち448名が出席され、多くの来賓の方々から健康と長寿を祝福されました。

越善靖夫村長からは「今日の東通村があるのは皆様方が永年にわたり東通村を思い、育ててくださったからであり、改めて深く感謝申し上げます。」と挨拶がありました。

続いて、今年度めでたく百寿を迎えられる2名の方に内閣総理大臣表彰が贈られ、また、米寿夫婦(88歳を迎えら



乾杯をする老人クラブ連合会 相内会長

れた長寿夫婦)4組に青森県知事表彰が、卒寿(90歳)15名と傘寿夫婦(80歳を迎えられた夫婦)19組には東通村長表彰が行われました。

祝宴に入ると、久しぶりの再会に笑顔がこぼれ、旧友たちと楽しそうに団らんする姿が各席で見られました。当日はこども園ひがしどおりの園児や保健協力員のアトラクションもあり、会場は笑顔と歓声でいっぱいとなりました。

敬老会を締める「おしまこ」では熟練の手さばきを披露し合い、アンコールするほどの熱気に包まれたまま、盛況のうちにお開きとなりました。



長寿を祝い、顕彰状が送られました



見事な手さばきで「おしまこ」の輪



未来のご長寿さんのアトラクション

## 収穫の秋、地域への思いも新たに

稔りの秋真っ盛りの10月13日、地区総代連合会の呼びかけで、村営第二牧場の栗園で収穫祭が行われました。

この栗園は、村の観光産業活性化のために地区総代連合会の皆さんが整備してきたもので、この日は越善村長、小笠原村議会議長、奥島教育長らが参加しました。参加者は共に汗をかきながら絆を深め、東通村への想いを語り合い、稔りの秋を満喫しました。

栗園は丁寧に整備され、毎年たわわに実っています。子ども達や観光客など、さまざまに利用され、体験観光の1つとして実を結ぶことを期待しています。

